

令和 7 年度 三 好 市 立 学 校 評 価 報 告 書

学校名 (箸蔵小学校)

作成日 令和8年3月13日

1 総括評価

評価分野	自己評価 (平均値)	自己評価結果の概要	学校関係者評価の概要	次年度の改善策
① 学校経営及び学校運営に関する評価	3.4	・重点目標及び具体目標の設定に全教職員で取り組んだことで、みんなが教育目標や重点目標を意識して教育活動にあたることができた。	・子どもも先生も、みんなが一緒になって頑張っていると感じる。また新たな目標を設定して、前に向かっていってほしい。	・本校児童の実態に基づき、これからの社会に求められる資質・能力を育てるための方策を提示する。個別具体目標の設定には全教職員で取り組み、当事者意識を持って主体的に推進できるようにする。
② 教育目標及び教育計画に関する評価	3.3	・本年度重点項目はほぼ達成できた。家庭学習の充実とメディアの適切利用、体力の低下傾向、読書習慣の確率が課題である。	・子ども達の体力アップのために体育の授業の重要性が増している。課題となるものを準備運動に取り入れる等の工夫をしてほしい。	・人材育成の面からも、校務分掌のあり方を考え、ベテラン、若手双方が育つ職員組織になるよう意識して取り組む。
③ 主要な教育活動に関する評価	3.4	・交流学习や地域学習がほぼ予定通り実施できた。福祉施設との交流もできるようになり、児童の豊かな学びにつながった。	・先生のゆとりや健康が児童の学びや安全・安心につながっている。自分の働き方を意識してもらいたい。	・メディアの使い方について、外部講師による安全教室や各学年に応じた指導を続けていく。また、使い方のルールについて教職員で共通理解を図る研修にも取り組む。
④ 保護者や地域との連携に関する評価	3.4	・学校便りや学級通信、また各種会合の機会を利用して方針を説明し、重点項目を中心に学校、保護者、地域が連携して児童を育むことができるよう努めてきた。保護者、地域ともによく協力してくださった。	・スマホやタブレットの使い方を身に付けさせるのは大切だが、事件や事故が身近に感じにくいこともあってなかなか難しい。指導や啓発を続けて、正しく使える力を付けていってほしい。	・体育の準備運動で、どの学年も取り組む運動を取り入れて効果が出ている面もある。引き続き体育学習における体力アップに取り組んでいく。業間休みの体力アップ運動や柔軟体操も行う。
⑤ その他、上記以外に関する評価 ()	3.3			・学校からの連絡配信について、定期的に配信不可の家庭がないか確認する。また、給食だより等児童がよく見るものや、紙媒体が適切な場合は、紙媒体でも配布するようにする。

(1) 4段階評価とする。

評価基準 4=達成度が 80~100 %

3=達成度が 50~ 80 %

2=達成度が 30~ 50 %

1=達成度が 30% 未満

(2) 総括評価表の「評価(平均値)」については、「2 分野別評価」の(1)~(5)の評価をそれぞれ平均(小数第1位)したものとする。

(3) 分野別評価の「評価項目」の「その他」については、各学校において必要事項を記入のうえ評価する。

(4) 総括評価の「評価分野-その他」の項目の()には、分野別評価の「(5) その他に関する評価」の中から、特に重要視する事から記入する。

(5) 総括評価及び分野別評価の「学校関係者評価の概要」欄は、学校関係者評価委員会(学校運営協議会も可)において評価された結果をまとめたものを記入する。

(6) 「次年度の改善策」の欄は学校評価委員会及び学校関係者評価委員会において協議された改善策をまとめたものを記入する。